



平成 27 年 10 月 5 日

各位

アンジェス MG 株式会社
DSファーマアニマルヘルス株式会社

高血圧 DNA ワクチンの動物用医薬品(犬慢性心不全への応用)に関する 共同開発契約締結のお知らせ

アンジェス MG株式会社(本社:大阪府茨木市、代表取締役社長:山田 英、以下、「アンジェス MG」と)、DSファーマアニマルヘルス株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:中島 毅、以下、「DSファーマアニマルヘルス」)は高血圧 DNA ワクチンの犬の慢性心不全への応用を目指した、動物用医薬品に関する共同開発契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

コンパニオン・アニマルの高齢化に伴い、循環器系の疾患に罹患する犬や猫の頭数は年々増加していると言われております。特に、犬の心疾患の中で最も多いとされる、僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全の症状に対しては現在、人で高血圧治療に用いられているアンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬等による内服治療が一般的となっております。しかし、家庭で飼育されている犬に対して、家族の方が薬剤を毎日継続的に服用させることは容易ではなく、残念ながら確実な投薬が行われない一因となっております。このような背景から、循環機能を安定した状態に維持できる治療薬の実用化が強く望まれています。高血圧 DNA ワクチンは、従来の慢性心不全の症状軽減を目的とした薬剤に比べて一回の投薬による作用の持続、すなわち安定した循環機能を維持する有効性が期待されることから、今回、犬の慢性心不全を対象とした動物用医薬品として開発することにいたしました。

高血圧 DNA ワクチンは、昇圧作用を有する生理活性物質アンジオテンシン II (AngII) に対する抗体(抗 AngII 抗体)の産生を誘導し、AngII の作用を減弱させることで降圧作用を発揮します。高血圧 DNA ワクチンの基盤技術は、大阪大学の研究グループによって開発され、これまでの研究では、慢性心不全モデル動物(犬)に対して高血圧 DNA ワクチンを投与した結果、抗 AngII 抗体価の有意な上昇が認められ、血圧の低下ならびに心不全パラメータの改善も認められています。

今後はアンジェス MG が原薬および製剤開発を進め、DSファーマアニマルヘルスが動物用医薬品としての非臨床試験や臨床試験を実施する計画です。なお、アンジェス MG はヒトを対象とした医薬品開発についても検討を進めて参ります。

以上

(ご参考)

高血圧DNAワクチンについて

高血圧DNAワクチンの基盤技術は、大阪大学の研究グループによって開発され、その研究成果は米医学専門紙に掲載されています。詳しくは2015年5月27日付けのプレスリリースをご覧ください。

http://animal.ds-pharma.co.jp/pdf/20150527_anges.pdf

アンジェス MG株式会社について

アンジェス MG株式会社は1999年12月に大阪大学の基礎研究を基に設立されました。治療法がない疾病分野や難病、希少病などを対象として、遺伝子医薬や治療ワクチンの実用化に向けた研究開発に取り組んでいます。

DSファーマアニマルヘルス株式会社について

DSファーマアニマルヘルス株式会社は、動物たちの健康を支えることで、人々の笑顔あふれる暮らしに貢献する企業として、大日本住友製薬株式会社の動物薬事業部門が会社分割の手続きを経て独立し 2010 年 7 月に設立されました。コンパニオン・アニマル向けに獣医師が処方する動物用医薬品や、特別療法食(米国ヒルズ社が製造する、特定の疾患に対して最適の栄養比を配分されたフード)および健康維持食を動物病院向けに販売するとともに、牛豚等の食用動物や水産業者向けの製品を販売しています。

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営企画部 広報グループ

TEL: 03-5730-2641

DSファーマアニマルヘルス株式会社 人事部 広報担当

TEL: 06-4705-8061